

# 武田 留美子

タケダ ルミコ

Rumiko Takeda

健康科学部 看護学科 准教授

## 学歴・学位

平成 15 年 3 月 広島大学社会科学部研究科国際社会論専攻 博士課程前期 修了  
平成 16 年 2 月～7 月 University of Leicester(UK) School of Social Work Visiting Researcher  
平成 21 年 3 月 広島大学社会科学部研究科国際社会論専攻 博士後期課程 満期取得退学  
令和 7 年 3 月 広島大学社会科学部研究科マネジメント専攻 博士後期課程 満期取得退学

## 主要職歴

平成 3 年 4 月～平成 4 年 3 月	近畿大学医学部附属病院 分娩・育児部（分娩・NICU）（助産師）
平成 4 年 4 月～平成 9 年 3 月	広島大学医学部附属病院 産婦人科病棟（助産師）
平成 9 年 4 月～平成 11 年 8 月	マツダ（株）（保健師）
平成 12 年 3 月～平成 13 年 6 月	社会福祉法人本永福祉会 居宅介護支援事業所「みその」 介護支援専門員（ケアマネジャー）
平成 13 年 3 月～平成 17 年 3 月	認知症高齢者グループホーム 広島県第三者評価調査員
平成 13 年 4 月～平成 16 年 12 月	国立呉医療センター附属看護学校、国立福山医療センター附属看護学校 非常勤講師（社会保障論）
平成 21 年 4 月～平成 25 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部看護学科 講師（地域看護）
平成 25 年 4 月～平成 31 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部看護学科 准教授（在宅看護）
平成 31 年 4 月～令和 7 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部看護学科 准教授（老年看護）
令和 7 年 4 月～現在	広島都市学園大学健康科学部看護学科 准教授（地域・在宅看護）

## 専門分野

地域・在宅看護学、社会保障、産業看護、高齢者看護

## 主な担当科目

地域・在宅看護論、地域包括ケア論、地域・在宅看護方法論、地域・在宅看護実習、研究方法論、看護研究、国際保健学

## 研究テーマ

介護者家族の後悔からの回復過程と介入について～PTG との関連から～  
看護医療政策、介護保険制度

## ひとこと

看護の道に興味を持ち進んでくださる学生さんを応援したいです。一緒に学んでいきましょう。

## その他（所属学会・団体）

---

社会政策学会、日本看護福祉学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本看護教育学会

## 研究活動

---

### 著書

- 1) (単著) 武田留美子、編著・坂脇昭吉・阿部誠「現代日本の社会政策」MINERVA TEXT LIBRARY 49 第1部第6章「介護保険制度の現状と課題—ケアマネジャーに焦点をあてて」pp104-123 平成19年4月

---

### 学術論文

- 1) (単著) 武田留美子：「イギリス高齢者社会サービスの現状—情報の偏在（非対称性）とその対策を中心に—」『広島法学』、広島大学法学会、第28巻第1号、pp 258-237 平成26年6月（査読付原著論文）

---

### 学会発表

- 1) (単著) 武田留美子：在宅介護者の後悔に関する文献検討、第40回日本看護科学学会学術集会、令和2年11月（コロナウィルスの影響で紙面発表）東京都
- 2) (単著) 武田留美子：「在宅看護実習における学生の経験する疾患と看護技術経験頻度」第38回日本看護科学学会学術集会、P58 平成30年12月（愛媛県）
- 3) (単著) 武田留美子：「介護者の経時的変化に着目した研究の動向」第30回日本看護研究学会中国・四国地方会、平成29年3月（岡山県）
- 4) (共著) 阪本恵子、武田留美子、二重作清子、溝上五十鈴、田村美子：看護診断学を1年後期に開講する課題への対策 日本看護学教育学会第21回学術集会
- 5) (共著) 武田留美子、阪本恵子「英国のインディビジュアルバジェットからみる日本のセルフケアマネジメントの課題」日本看護研究学会・中四国部会

その他 3本

---

### その他

#### 1. 外部資金獲得

- 1) (共著) 中島素子、武田留美子、今村美幸、瀬野尾一江、山本カヨ子、山口扶弥資金獲得 子育てと家庭づくりに対する意識の調査研究—乳幼児ふれあいと家族との交流を通じて 平成22年度広島県健康福祉局総務管理部こども家庭課の「若者の子育てと家庭づくりに対する意識の調査研究」補助金事業 平成22年
- 2) (単著) 武田留美子「ケアマネジャー自身が培った技術の研究～ジレンマとその対処から～」 在宅医療助成 勇美記念財団 在宅医療助成 2009年度一般公募（後期）完了報告書 平成23年